

3次チェック(国語)

国語チェックリスト		チェック	習得学年	他項目
<b>&lt;I. 聞く&gt;</b>				
1. 音韻認知(音として捉える段階)に問題が見られる。				
→ a. 聞き間違いがある(「はな」を「あな」, 「はんこ」を「はこ」と聞き間違える)				
b. 特定の聞き取りにくい音がある(例: 子音の中でも, サ行が聞き取りにくい)				
c. 新しい言葉をなかなか覚えられない(例: 固有名詞などがなかなか覚えられない)				
2. 意味理解に困難が見られる。				行動へ
→ a. 指示内容についての理解が困難なため, 指示に従うことができない。				
b. 話が通じにくいことがある。				
c. 簡単な内容や質問でも, 誤って理解することがある。				
d. 様態や, 程度を表す言葉の理解ができない(例: 形容詞や副詞の理解が難しい)				
e. 同じことを表しているが, 表現の仕方が違う文の理解ができない (例: 「犬が猫をおいかける」 「猫が犬に追いかける」)				
f. 言葉の背後に隠された意味を捉えることができない(例: 鉛筆を忘れた人が言う 「鉛筆を持っていますか?」は「鉛筆を貸して下さい」といった意味がわからない)				
g. 話し合いが難しい				
3. 注意集中や, 記憶面に困難が見られる。				行動へ
→ a. ちょっとした雑音でも, 注意がそれやすい。				
b. 相手の話を聞いていないと感じられるときがある。				
c. 話を最後まで聞くことができない				
d. 聞きもらしがある				
e. 聞いたことをすぐ忘れる				
f. 指示を聞き返すことがある。				
<b>&lt;II. 話す&gt;</b>				
4. 構音(音を作る段階)に問題が見られる				運動へ
→ a. 発音しにくい音がある(例: 「しらない」を「ちらない」と発音する)				
b. 発音しにくいこと音がある(例: 「やわらかい」を「やらわかい」と発音する)				
c. 話す際の抑揚が, 不自然である。				
d. 適切な声の大きさや, 速さで話すことができない				
5. 正確にことば(語彙レベル)を用いることに困難が見られる				
→ a. 適切なことばを見つけられなかったり, ことばにつまったりする				
b. 使うことばの数が少ない				
c. あることばを間違った意味において使うことがある				
d. 「行く 来る」, 「あげる もらう」などの混乱が見られる				
6. 正確に文法を用いることに困難が見られる				
→ a. 主語, 述語の文が作れないなど, 文法構造の理解ができていない				
b. 助詞を適切に使うことができていない(例: 「ノートを名前に書きました」)				
7. 会話(文)においてのやりとりに困難が見られる				
→ a. 内容をわかりやすく伝えることができない				
b. 思いつくままにはなすなど, 筋道の通った話ができない				
c. その場に応じた話をすることができない				
d. 単語の羅列や, 短い文など内容的に乏しい				
<b>&lt;III. 読む&gt;</b>				
8. 一つ一つの文字を読むのに困難が見られる				
→ a. 平仮名の読み間違いがある				
b. 片仮名の読み間違いがある				
c. 習った漢字が読めない 「学年別漢字配当表」参照				
d. 漢字の読み間違いがある (例: 形態的に似た漢字と読み間違える… 貝 「みる」, 石 「みぎ」 意味的に関連のある漢字と読み間違える… 町 「村」, 入る 「でる」 単漢字を勝手に熟語化して読み間違える… 人 「にんげん」, 牛 「ぎゅうにゅう」 勝手に送りがなを付けて読み間違える… 城 「しろい」, 青空 「あおいそら」)				
9. 単語を読むのに困難が見られる				
→ a. 文字の順序を読み間違えたり, 混同したりして読む (例: 「とおまわり」を「とのおまわり」, 「にぐるま」を「にじまる」と読み間違える)				
b. 文字を抜かしたり, 余分な文字を抜かして読む (例: 「せいかつ」を「せかつ」, 「せんせい」を「せんせいい」と読み間違える)				
c. 促音や拗音などの特殊音節のある単語を読み間違える (例: 「がっこう」を「かっこう」, 「せんしゅう」を「せんしょう」と読み間違える)				
d. 初めて出て来た単語や, 普段あまり使わない単語を読み間違える				
e. 漢字で表されている単語より, 仮名で表されている単語の方が理解しにくい				

3次チェック(国語)

国語チェックリスト		チェック	習得学年	他項目
10. 文章を音読する際に困難がみられる				
→	a. 助詞の「は」を読む際にも変換せずにそのまま「ハ」、「へ」を「へ」など読み間違える (例: 「ワタシワ」を「ワタシハ」と読み間違える)			
	b. 単語や文節に正しく区切って読むことができない			
	c. 勝手読みがある(例: 「いきました」を「いました」と読み間違える)			
	d. 文中の単語や行をとばしたり、繰り返したりすることがある			
11. 文章の内容を理解するのに困難がみられる				
→	a. 文章の内容の大体を読み取ることができない			1
	b. 文章の中の場面の様子を読み取ることができない			1
	c. 事柄の順序を考えながら読み取ることができない			1
	d. 文章の中の人物の気持ちを読みとることができない			1
	e. 文章の要点を読み取ることができない			3
<IV. 書く>				
12. 文字を書くのに困難がみられる				
運動へ				
→	a. 平仮名の書き間違いがある (例: 鏡文字「く」「>」を書く、 形式的に似ている「れ」と「わ」を間違う)			
	b. 平仮名の書き間違いがある			
	c. 習った漢字が書けない「学年別漢字配当表」参照			
	d. 漢字の書き間違いがある (例: 細かい部分を書き間違える…「赤」「土」 へんかつくりを反対に書く…「粉」 意味的に関連のある漢字と書き間違える…「入」「出」)			
	e. 書くときの姿勢や、鉛筆などの用具の使い方がぎこちない			
	f. 字の形や大きさがうまく取れなかったり、まっすぐに書けないなど読みにくい字を書く			
	g. 独特の筆順で書く			
	h. 文字を写すのが難しい(例: 黒板に書いてあることを写すのが遅い)			
13. 単語を正確に表すことに困難がみられる				
→	a. 文字の順序を書き間違えたり、混同したりして書く(例: 「とおまわり」を「とおまり」、 「にくるま」を「にじまる」と書き間違える)			
	b. 文字を抜かしたり、余分な文字を加えて書く(例: 「せいかつ」を「せかつ」、 「せんせい」を「せんせいり」と書き間違える)			
	c. 促音や拗音などの特殊音節のある単語を書き間違える(例: 「がっこう」を「かっこう」、 「せんじゅう」を「せんしょう」、「おとうさん」を「おとおさん」と書き間違える)			
14. 文を書くうえでの基本的な構造の理解に困難がみられる				
→	a. 主語、述語の文が作れない、順序がおかしいなど文の組み立てが理解できていない			
	b. 助詞を適切に使うことができない(例: 「ノートを名前に書きました」)			
	c. 助詞の「は」を「わ」、「を」を「お」、「へ」を「え」と書き間違える			
	d. 「、」「」など符号を正しく使うことができない			
15. 文章を書くのに困難がみられる				
→	a. 思いつままに書き、筋道の通った文章を書くことができない			1
	b. 事実の羅列のみで内容的に乏しい			1
	c. 限られた量、決まったパターンの文章しか書けない			1
	d. 修飾と被修飾の関係に注意して書くことができない			3
	e. 指示語や接続語の役割と使い方に注意して書くことができない			3